

## 法律科目試験 「刑事法系」 問題

I 次の事項について、400字以内で説明しなさい。

- ・過失の共同正犯

II 次の事例における甲と乙の罪責を論じなさい（特別法違反の点は除く。）。

甲（男、20歳）は、勤務する会社の業務として、消防設備の取替のために、高所得者と噂されるXが一人で住む一軒家に赴くことになった。甲は遊ぶ金に困っていたため、X宅での作業の際に機会があれば、現金を盗み出そうと考えた。

作業の当日、甲は指定された時刻にX宅を訪れ、応対に出たXに社員証を見せて本名を名乗ると、Xは甲を中に招き入れた。甲は早速取替作業を開始した。間もなくXが便所に立って甲のそばを離れたため、その隙に甲はたんすの中を探り、Xがしまっておいた100万円の札束を発見し、これを自分の鞆の中に入れた。その後、作業を終えた甲は、戻って来たXに取替が済んだ旨を報告すると、100万円を隠し持ったまま、立ち入りの約10分後にX宅を辞した。

その夜、不良の遊び仲間を伴って酒場に飲みに出掛けた甲は、酔余、X宅から持ち出した札束を仲間に見せびらかしながら、昼間の犯行について自慢を始めた。その話し声を耳にはさんだ店の客乙（男、25歳）は、この金を奪おうと考え、甲が店を出るとその後をつけ、甲が仲間と別れて一人になったところで呼び止めた。そして、店で聞き知った犯行を警察に通報されたくなければ、奪った額の半分を寄越せと甲に告げた。畏怖した甲が50万円を乙に手渡したため、乙はこれを受け取って立ち去った。